

学校関係者評価報告(平成29年度)

平成29年度の学校評価委員会を開催し、「青山建築デザイン・医療事務専門学校の自己点検・自己評価」をもとに、学校関係者による評価を以下の通り実施した。

学校関係者評価委員会開催日:平成30年7月28日(土)

学校関係者評価委員:

1. 井野 雄介 医療法人社団親寿会 池永クリニック事務長
2. 鈴木 真衣 診療情報管理士専攻科 平成27年3月卒業 市立札幌病院勤務
3. 林 公子 医療事務学科2年生・診療情報管理士専攻科平成27年3月卒業生
保護者

青山建築デザイン・医療事務専門学校

齋藤校長、林副校長、高林総務部長、正田教務部長、大野学生部長、

加藤広報部長、武川教務課長

平成29年度 自己点検・自己評価・学校関係者評価

青山建築デザイン・医療事務専門学校

(1) 教育理念・目標	自己点検・評価
<p>1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。</p> <p>本校は、学校教育法第82条の2に基づく専修学校として、本校設置課程の工業分野では、建築の設計・製図・デザイン・CAD、商業実務分野では、医療事務・診療情報管理の専門知識・技術を習得させ、自主的精神に充ちた学生の育成を目的とする。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>教育方針・教育目標に添って、専門教育の充実・生活指導・資格取得に対する指導・就職指導を行っている。平成29年度就職率建築系94.59%・医療系90.00%。退学率は建築系7.64%・医療系3.12%だった。理念、目標は教職員に周知しているが、さらなる工夫が必要である。</p>
<p>2)分野ごとの教育目標・経営方針は明確になっているか。</p> <p>1 工業分野</p> <p>教育目標は、技術者であるとともに、常識ある社会人を育成する。産業界において即戦力となる技術者を育成する。国際性豊かな幅広い知識をもった技術者を育成する。</p> <p>経営方針(教育活動)</p> <p>産業界の動向を注視し、技術の進歩に応じて指導内容を見直し、基礎基本の精選を行い、カリキュラムの改善を図る。多様化した学生の一人ひとりの個性と能力に心を配り、即対応できるよう常に教員は、指導方法を工夫、改善し即戦力として企業のニーズに即応できる自立心とマナー教育の徹底、社会から信頼される質の高い技術者を育成する。CAD、3D、CG等の技術については専門学科ごとに指導の充実を図る。建築施工管理技術検定、建築CAD試験、福祉住環境コーディネーター、インテリアコーディネーターの資格試験等の級取得を目指す。建築研究科はその実績を踏まえ、二級建築士の資格取得と専門知識、技術の取得を図る。</p> <p>2 商業実務分野(医療事務系)</p> <p>教育目標は、幅広く豊かな教養を身につけ、心豊かな人間性を持った社会人を育成する。医療に携わる者としての目的意識、他人の心の痛みがわかる人、モラルやマナーなど常識豊かな社会人を育成する。教員自身が接客教育、コミュニケーション能力、ビジネスマナー等の指導能力をしっかりと身につけ自らの人間性を高める。情報収集を常に行い、医療システム、管理システムの高度な専門知識を兼ね備えたスペシャリストを育成する。</p> <p>経営方針(教育活動)</p> <p>高齢化社会にともない医療、施設、医療スタッフの厳しく選別される時代に入った、今迄以上に知識、技術そして気遣い、心くばり、優しさ、いたわりの心を持った、信頼される人格を兼ね備えた質の高い医療従事者が求められている。本校が今迄に培ってきたコンピュータの専門的な技術やノウハウを最大限に生かし、患者と医療スタッフの架け橋となる医療秘書、医療事務のエキスパートを育成、又病院の経営管理から医療データの情報管理のスペシャリストを育成する。医療秘書技能検定、診療報酬請求事務能力検定、医事コンピュータ技能検定、医師事務作業補助認定試験(ドクターズクラーク)、診療情報管理士の資格取得を目指す。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>知識を身につけ資格を取得し、自分が思う職場へ就職をするという教育目標を経営方針に基づき運営されている。特に常識的なマナー教育に力を入れカリキュラムの中に取り込む必要がある。学生の能力のばらつきが多く教員・講師に授業や生活指導の工夫をお願いしている。また、在学中の資格取得にも積極的になれる様な指導が必要だ。平成29年度の全校の出席率は、95.4%で例年とほぼ同数だった。</p>

【委員会の意見等】

学校： 4月に新年度連絡会、9月に教務部会等で理念に関して、講師と教職員間で毎年確認し、意見を聞き工夫をしている。
委員： 退学者の具体的な人数は？
学校： 建築系 6名 医療系 1名
就職率 100%、退学率 0%を目標に努力している。
建築系の退学者を減らすための努力が必要である。

(2) 学校運営**自己点検・評価****1) 事業計画に沿った運営方針が策定されているか。**

運営方針、事業計画内容を新年度が始まる前に作成し、評議員会に諮った上、理事会に上程し年度予算、資金計画と併せ承認を受ける。各部、各学科は、この年度事業計画を踏まえて年度計画を定め、理事長、校長の承認を受けて業務を遂行する。

【点検評価】

毎年理事会・評議員会の承認を受け、計画を実行している。平成29年度は、入学生数は、建築系は、ほぼ定員に迫ることが出来たが、特に医療事務学科の募集に課題が残った。職業訓練は、予定していた3クラスの訓練を行うことが出来た。

2) 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか。

学校法人の運営方針は理事会・評議員会に諮り理事長が決定する。また学校の運営方針は校長を中心とした校務運営会議で検討し、校長が決定する。その内容は教職員会議に諮り、速やかに告知している。

【点検評価】

運営組織としては現在の運営組織でスムーズに機能している。教職員からの要望は各部の部長を通し、校務運営会議や起案書等で提出し決定する。議題によっては、教職員会議で再度検討し校長が決定する。

【委員会の意見等】

学校： 学生募集に関しては適正に行われているが、医療事務学科は希望者が増えるように学校や学科の内容を告知する必要がある。
委員： 医事の定員は変更したのか？
学校： 60名から40名に変更した。
医療事務の求人に対して、応募者は多いのか？
委員： 正規雇用に関しては人気である。

(3) 教育活動**自己点検・評価****1) 学科のカリキュラムの作成・見直し等が行われているか。**

1年次では基礎知識を体系的に学習できるようにカリキュラムを設定しており、2年次においては専門知識を更に充実するように組んでいる。診療情報管理士専攻科や建築研究科の3年目の学科は、目標資格が取得できるようにカリキュラムを組んでいる。

【点検評価】

基礎教科と応用教科の実施時期と、資格取得時期を考慮し、教科の実施時期などを各学科会で話し合い検討し、校長が決定している。医療系学科では「教育課程編成委員会」を開催し、教科編成の見直し等を行い29年度はカリキュラムの一部を変更した。

<p>2)成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。</p> <p>成績の評価は、定期試験の点数や実技科目の作品を中心に出席状況や作品、レポート、小テスト等平素の成績を総合的に判断して教科担当者が決定している。また、定期試験で合格点に満たない時は、中間試験では授業中にテストの解答をし、翌週に再試験。期末試験では補講を行い、その後再試験を実施している。進級・卒業は教務規定にある基準を満たすことが必要であり、年2回の成績会議で決定する。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>評価は教務規定にある基準通りの評価で判定している。平成29年度は、不合格教科が基準に満たなかった学生が2年生(建築系)で1名おり退学した。</p>
<p>3)授業評価の実施・評価体制はあるか。</p> <p>授業評価は、前期終了前に学生による授業評価(無記名のアンケート)を実施し、その評価内容を各担当教員に知らせ、授業改善に役立っている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>担当教員は授業改善に役立っている。</p>
<p>4)資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。</p> <p>各種資格取得に必要な学習を授業に組み入れてあるが、資格試験の学習が授業で行われない学科では、金曜日の午後の「自主研修」の時間に行っている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>授業中に資格試験の対策を入れている。自主研修では、検定試験対策の為の講座を開設し学習の仕方や過去問を中心に講義を行っている。さらに合格率を上げるよう工夫が必要である。29年度の診療情報管理士の合格率は100%だった。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>学校： 建築と医療など、全く違った学科が混在している学校は珍しい。 委員： 建築系と医療系の接点はあるのか？学生は接点を欲しいと思わないのか？ 学校： 学校行事や自主研修時に体育館で一緒に行くことはあるが、他は少ない。</p> <p>委員： 学生が人前で発表する機会はあるのか？ 学校： 医療系は卒業研究発表会があり、人前で発表することはある。建築系はあまりないが、就職活動時に自分の作品を持参し、説明することがあるため必要である。</p> <p>委員： 人前で話すことは緊張するため、あったほうがよいのではないか。 学校： 検討して行きたい。 学校： 29年度の医療系の教科の見直しに関して…診療情報管理士のカリキュラム変更があったため、それに伴い見直しを検討している。</p>	

(4) 学修成果関係	自己点検・評価
<p>1)退学率の低減が図られているか。</p> <p>退学を減らすために担任は遅刻・欠席の多い学生とこまめに連絡を取り、保護者に連絡し家族の協力をえている。欠席が多くなった時は教務部長が個人面談をし、さらに多くなった時は校長が面談をして、できるだけ退学者を出さないように指導している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>平成29年度の退学は、建築系は13名、医療系は1名だった。退学の原因は医療事務の1名は体調不良によるものだったが、その他に関しては、成績不振や欠席日数が多くなったためであった。特に2年生での退学者が6名(1名は死亡)と残念な結果だった。特にペナルティ進級の学生に対する指導を徹底して行きたい。</p>

<p>2)資格取得率の向上の指導について</p> <p>67</p>	<p>【点検評価】</p> <p>平成29年度の建築研究科の2級建築士の合格率は、50.0%、診療情報管理士の合格率は100%であった。その他、2級建築施工管理技術検定は37.8%、建築CAD検定は55.1%。医療事務管理士技能認定は88.2%、電子カルテ技術検定は100%、医事コンピュータ技能検定は85.7%、診療報酬請求事務能力認定は14.28%だった。結果を残せなかった試験については、対策の強化の必要がある。</p>
<p>3)就職率の向上が図られているか。</p> <p>就職活動において個人面談を中心に個々の適性を重視し適切なアドバイスを行い、企業とのミスマッチを無くし、適所に就職させるべく指導を行っている。学校内の体制は、「学生部」を設け企業からの求人受付、求人開拓を行い、「学生に対する情報提供」「応募書類の指導」「面接の練習」等を実施している。「面接試験」の重要性という観点から、学生個人に対し就職試験前に模擬面接の指導も行っている。授業としては「就職支援講座」を取り入れ、自己分析、履歴書の書き方、面接での準備とマナー等、就職活動に役立てるよう配慮している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>平成29年度の卒業生の就職状況(卒業時)は、2年課程の建築系学科は2名、医療事務学科は1名が未就職(嘱託職員のため内定を辞退した)だった。いずれも数社に応募したが、内定を得ることが出来なかった。学生本人の適性等もあるが、今後も学生の就職に対する意識や意欲が高まる指導を継続したい。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>学校： 診療報酬請求事務能力認定試験は全員受験としているため、合格率が低くなっている。基本は医療事務管理士の取得である。今年の冬より受験料も7,500円から9,000円と値上がりするため、任意か全員受験か検討の必要がある。</p> <p>委員： 自分の時(専門学校在学時)は任意であった。</p> <p>委員： 模擬面接は2年次だけでなく、3年次でもあったほうが良いのではないか。</p> <p>学校： 検討する。</p>	
<p>(5) 学生支援</p>	<p>自己点検・評価</p>
<p>1)学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。</p> <p>日本学生支援機構奨学金、札幌市奨学生、交通遺児育英会奨学生オリエンテーション学費サポート等の案内及び手続きを実施。また、本校独自の経済支援として入学段階で、「家族優遇」「母子(父子)世帯優遇」などを実施し、経済状態が厳しい学生のための受入れ制度を作っている。また、学費の滞納者には連絡を取り、奨学金の紹介や学費の分割の相談を受けている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>高校在学中に日本学生支援機構奨学生制度の予約採用を利用した学生50名、在学採用の学生が45名だった。</p>

<p>2)保護者と適切に連携しているか。</p> <p>学校と保護者との意思の疎通を図ることを目的として、毎年7月の第2日曜日に「保護者懇談会」を開催している。学生の保護者を対象に、学校の方針・実績の報告、学生個人の日常行動・就学状況を説明し理解を深めてもらう。また日常の就学に問題のある学生は、必要に応じてクラス担任より保護者に連絡し、就学状況の改善をうながしている。1年生は前期終了・後期終了時、2年生は前期終了時に就学状況表を保護者に送り、学校での状況を知らせる。また、遅刻欠席の多い学生に対しては、担任から保護者に連絡し退学にならないように早期に手を打っている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>平成29年度の保護者懇談会は7月16日実施した。62組72名の保護者が参加。全体会・個別面談などで就学状況等の説明をする。また、就学状況表で、学校生活の様子を知らせている。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>委員： 子供が休みがちである。 留守電は何時までか？どこまで親が連絡するべきか？</p> <p>学校： 8時には職員も出勤している。親が連絡してくれるのは、ありがたい。</p>	

(6) 教育環境	自己点検・評価
<p>1)施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>教育上必要な施設・設備は整備されているが、29年度は1号館のコンピュータ41台の入れ替えを行った。(今回は平成22年度)</p>	<p>【点検評価】</p> <p>トイレの和式便器を節水型洋式便器に入替、1号館の2階・3階の教室の照明をLEDに取替えた。出来る範囲で整備を進めている。</p>
<p>2)学校内の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか。</p> <p>フィンランドの歴史的建築や北欧のデザインを見学する研修を計画し、参加希望者を募集した。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>海外研修旅行は、希望者12名で、フィンランド(ヘルシンキ)で実施し、歴史や町並み、デザインを学ぶ研修となった。また、インターンシップは希望者がいなかったため実施されなかった。医療事務学科は2年生の5月末から3～4週間の病院実習を実施した。</p>
<p>3)防災に対する体制は整備されているか</p> <p>自衛消防隊を編成し指揮、通報、避難誘導の役割分担を行っている。また、毎年9月に全校学生に対し避難訓練を実施している。学校設備に関しては、電気設備・EVの点検を毎月、消防設備の点検を年2回、特殊建築物の点検を年1回実施している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>法定点検を実施して、災害に遭わないようにする。また、災害の際には、消防署等に通報すると共に避難訓練で実施しているように学生を、適切に避難場所に誘導する。平成29年度は、8月25日に実施し、避難方法や避難場所の確認を行った。</p>

【委員会の意見等】

委員： 1号館3階の講義室が暑かった記憶がある。
 学校： 今年はいボイラーの入替をしている。
 エアコンの見積もりを取って検討している。
 これまでの委員会で意見のあった、トイレを洋式にしたり学生が病気のときにかかる近隣の医療機関を掲載するなど、出来ることから行っている。
 委員： 病院実習では実習ノートをつける事がとても勉強となった。
 実習に関しては、今のままでよいのではないか。

(7) 学生の受入れ募集	自己点検・評価
<p>1) 中学校・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みは行っているか。</p> <p>中学校においては、「次世代人材職業体験推進事業」「総合的な学習の時間」における体験実習生を受け入れている。高等学校には、「進路相談会」「ガイダンス」「出前授業」などを実施し、校内では「体験入学」を実施し本校の授業内容・取得資格・就職実績などを説明している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>中学生の受け入れについては毎年要請数が増え、受け入れする体制づくりを考えていく必要がある。高校では、広報部職員が中心になり、29年度は相談会・ガイダンス等で、2,721名の面談者。出前授業43回を実施し、本校の情報を提供している。</p>
<p>2) 学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>ホームページでの学校紹介をはじめ、全道各地で開催している進学相談会に参加。また高校内での模擬授業、職業説明・分野説明や校内ガイダンスなどに積極的に参画をしている。また、29年度は体験入学を29回開催し、その内10回全道各地より無料バスを運行した。高校3年生143名の参加があった。体験入学の告知DMを作成し毎月、進学相談会などに参加した学生に発送した。本校認知度の向上、本校ポスターの高校内掲示、体験入学告知と高校独自開催出前授業を依頼されるため全道各地の高校訪問を行った。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>在校生近況報告書は非常に高校の先生から喜ばれ、高校内で掲示してくれるため、本校を高校生に知ってもらう上でも有効なものだが例年、高校によっては配布が遅れてしまっているため、極力持参し難しい地域は発送に切り替えていきたい。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>学校： 中学生は相当数の受け入れをしているが、建築系が多く医療系は少ない。中学生の体験から入学に結びついている学生もいる。 また出前授業も建築系が多くなっているが、出前授業自体が少なくなっているため、打開する必要がある。 来年度は体験者数を増やすために色々検討して行きたい。 直ぐに結果に結びつくものではないが、1人でも多く受け入れをして行きたい。 診療情報管理士の知名度が低いとため高校訪問を通して地道に伝えていかなければならない。</p>	
(8) 財務	自己点検・評価
<p>1) 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>5月初旬に決算書が出来た時点で監事へ報告し、会計監査を実施。決算内容をチェック後、監査報告書に署名捺印をもらい、理事会・評議員会で報告している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>監事2名が来校し帳簿・計算書・預金通帳など点検し、適正に会計監査が行われている事を確認している。平成29年度の会計監査は平成30年5月10日に実施し、違反する事実のないことを確認した。</p>

<p>2)財務情報の公開について</p> <p>私立学校法に基づき平成16年に公開体制を整備し、関係者から請求があった場合には、閲覧できるように用意をしている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>財務情報公開書類を整備し、学校関係者の閲覧希望があれば公開できるよう準備をしている。また、平成26年度より前年度の資金収支計算書をインターネットのHPで公開している。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>学校： 収支差額にマイナスが出ないように学校設備の充実や改修など調整している。</p>	

(9) 法令等の遵守	自己点検・評価
<p>1)個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</p> <p>学生情報はWindowsサーバーにて集中管理し、管理者が指定したPCのみにアクセスを許可している。また、常勤教職員には毎年「個人情報特定シート」の提出を義務付け、個人情報の管理方法等を管理している。 非常勤講師には、個人情報に関する取り扱いの注意を、年度初めの「新年度連絡会」に配布している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>個人情報に関して「プライバシーポリシー」を掲げて個人情報保護法を遵守している。</p>
<p>2)自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</p> <p>自己点検・自己評価は平成15年度から行っている。点検項目は、それぞれの関係機関による基本項目を元に精査し、本校に合った点検項目を関係部署が点検し校長が評価している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>平成25年度までは独自のフォーマットで行ってきたが、平成26年度からは、このフォームで行うが点検項目は検討し、より良いものにして行く。また、「自己点検・自己評価・学校関係者評価」は、本校のHPで公開している。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>学校： 個人情報もしっかりと保護している。 委員： 卒業時に配布された名簿はシュレツダーにかけた。</p>	

(10) 社会貢献・地域貢献	自己点検・評価
<p>1)学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。</p> <p>中学生を対象とした次世代人材職業体験推進事業の職業体験講座の受け入れを積極的に行っている。29年度は道内の中学40校、284名の参加があった。 札幌市委託事業の障害者活動支援事業で、施設で製造したパンやお弁当の販売を学校内でやっている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>中学生の職業体験講座の受け入れは、教室や担当する教員の都合で、受け入れできないものも多いため、今後受け入れ方法考えていかななくてはいけない。 パンやお弁当の販売は、1カ月に1回行っている。</p>

【委員会の意見等】

委員： 昨年度の委員会での意見はどのようになったか？

学校： 昨年出た意見の中に、「協賛金を企業より頂いたらどうか」とあったが、現実難しい。
制作展等では行事費より支出している。
委員会での意見は出来る限り、回答したい。

校長： 毎年実施しているが、委員より色々な意見を頂いており新しい取り組みが出来ている。

委員： 今年の資料はととも見やすくなっている。